



2021年 第263号

ひろしまの 土地改良



第19回ひろしまの農村フォトコンテスト 最優秀賞
「白鷺が飛ぶ田んぼ」 松下 眞吾（撮影場所…三原市）

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

広島県土地改良事業
団体連合会
(水土里ネットひろしま)

会長	木山 耕三	副会長	奥田 正和	副会長	明岳 周作	副会長	赤間 章	理事	吉田 隆行	理事	三村 裕史	理事	箕野 博司	理事	福岡 誠志	理事	箕田 英紀	理事	松田 一馬	理事	枝廣 直幹	理事	入江 嘉則	理事	平谷 祐宏	理事	高垣 廣徳	理事	高田 幸典	代表理事	今榮 敏彦	監事	久川 廣昭
----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	------	-------	----	-------

外職員一同

令和三年元旦

新年のごあいさつ



みどり
水土里ネットひろしま
広島県土地改良事業団体連合会
会 長 き や ま こう ぞう
木 山 耕 三

新年、明けましておめでとうございます。

会員並びに関係者の皆様には、日頃より農業農村整備事業の円滑な推進、並びに本会の運営につきまして、格別なご理解とご支援を賜り心より厚くお礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威を振るい、多くの方が感染し、感染防止に向けた対応が講ぜられるなど、社会経済や日常生活に大きな影響を与えることになりました。一刻も早く感染が収束し、元の生活に戻ることを心から願っております。

さて、昨年3月に「新たな食料・農業・農村基本計画」が閣議決定し、今後10年間の農政の指針が示されました。食料の安定供給の確保、農業の持続的な発展、農村の振興等施策の推進と実行により、「我が国の食と活力ある農業・農村」が次世代に継承されるものと考えます。

計画実現のためには、担い手の育成や確保、農地の集積等を進めるとともに、生産基盤の強化が必要です。そのためにも、農地の大区画化や・汎用化等の農地整備や適時・適切な農業用水利施設等の維持・更新が必要不可欠です。

また、近年は大規模地震や豪雨などの自然災害に見舞われ、全国各地で甚大な被害をもたらしています。農業農村整備事業は、農業の生産性を向上させるだけでなく、農地の基盤整備や農業水利施設等の機能強化は、農村地域の防災・減災対策として、国土強靱化につながる重要な役割を担っております。このためにも、農業農村整備を計画的に推進する事が必要と考えます。

本会といたしましては、長年培ってきた技術と経験を最大限に活かして、本会が果たすべき役割と使命を全うし、「国の基」である農業の持続的発展と、活力ある農村の実現に向け、役職員一丸となって取り組んで参ります。

本年も一層のご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げますとともに、皆様のますますのご発展とご健勝をお祈り申し上げます、新年のごあいさつといたします。

新年のごあいさつ



広島県農林水産局長

うえ なか たか まさ
上 仲 孝 昌

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年の初頭から続く新型コロナウイルス感染症の拡大は、外食の機会を減少させるなど食料生産を担う農林水産業へも大きな影響をもたらしました。農業農村整備事業でも、地域での話し合う機会の制約などがございましたが、関係者の皆様には様々な工夫をいただきながら取り組んでいただきましたことに対しまして、深く感謝申し上げます。

さて、県では、少子・高齢化の進行、デジタル技術の進展、豪雨の多発などの環境変化を踏まえつつ、生産性の高い持続可能な農林水産業の確立を目指し、「2025農林水産業アクションプログラム」の策定を進めているところでございます。

このプログラムの目標を達成するため、農業農村整備事業につきましても、まずは、平成30年7月豪雨災害による農地・農業用施設の復旧工事を早期に完成させ、営農再開に繋げていくことが重要でございます。これまでも、市町の皆様には、工事業者の受注しやすい環境づくりなどに取り組まれ、約8割の工事に着手していただいたところでございますが、引続き、早期完了に努めていただくようよろしくお願いいたします。

ため池対策につきましても、届出により管理者の情報などの把握を進めておりますが、今後は「防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法」に基づく、劣化や豪雨などに対する耐性評価や計画的な防災工事を推進していくこととなりました。また、管理者の高齢化が進行していることから、適正な管理に向け、ため池の状態把握や技術的な助言などを行うしくみも求められています。

一方で、地域の核となる担い手に農地を集積し、排水対策や大区画化などの整備を行うことは持続的な農業の確立に不可欠です。今後はこうした既存の施策に加え、スマート農業技術の活用のために情報通信環境等の基盤を整備し、生産性を更に向上させる取り組みも必要となります。

更には、コロナ禍や豪雨による浸水被害などを背景に、農業や農村が有する豊かな自然や洪水調節機能なども注目されていますが、こうした多面的な機能が発揮されるよう農地や農業用施設を適切に保全していくことも重要となります。

このため、今後とも、災害復旧、防災・減災対策及び農業基盤の整備並びに農地や農業用施設の保全対策など必要となる農業農村整備事業により農業・農村の振興が図られるよう、関係の皆様方からの御協力をよろしくお願いいたします。

終わりにになりましたが、皆様方の今後ますますの御健勝と御活躍を祈念いたしまして新年の御挨拶といたします。

令和3年1月



第19回「ひろしまの農村フォトコンテスト」



入賞作品 決定！

第19回ひろしまの農村フォトコンテストの審査会が1月18日(月)に開かれ、応募総数164点から厳正なる審査により最優秀賞1点、優秀賞2点、広報委員会特別賞10点の計13点が選ばれました。

四季折々の風景や収穫体験の様子など、それぞれの視点で撮られた農村風景の写真が出揃いました。

入賞作品 ※最優秀賞は表紙に掲載

優秀賞

「ボクもお手伝い」

(撮影場所…神石高原町三和)

島田 克



「田植えを待つ夕映えの桜」

(撮影場所…庄原市比和町三河内)

溝山 勇



広報委員会特別賞

「おかえり、ただいま」

(撮影場所…庄原市高町)
佐々木 陽介



「お父さん」

(撮影場所…三次市三和町)
佐々木 康夫



「稲刈り体験」

(撮影場所…安芸太田町)
盆子原 政司



「気持ちいい！」

(撮影場所…世羅町)
安保 道子



「輝く早苗田」

(撮影場所…安芸高田市)
荒川 ゆうじ



「風情ある石積」

(撮影場所…安芸太田町)
平本 元



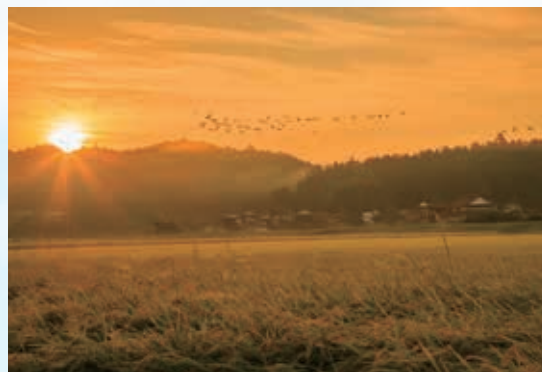
「初夏の訪れ」

(撮影場所…北広島町新庄)
木本 剛義



「山里の昇陽」

(撮影場所…東広島市黒瀬町)
大森 富美男



「田んぼのアート」

(撮影場所…三次市君田町)
上田 和夫



「夕映え」

(撮影場所…庄原市上原町)
妙田 俊二



「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展 2020



「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展 2020に全国各地から4,883点の作品が寄せられ、入賞32点、地域団体賞42点、入選158点が決定しました。広島県からは、入賞1点、地域団体賞3点、入選12点が選ばれました。



環境大臣賞

「ピクニックへ Let's Go!!」

小林 未知 (学校法人三光学園神辺千鶴幼稚園)



水土里ネット福山 くawaii大賞

「くawaii」

宮本 桃花 (福山市立新涯小学校)



水土里ネット祇園 八木用水賞

「壬生の花田植」

横田 正成 (広島市立緑井小学校)



水土里ネット福山 優秀賞

「田んぼとかえる」

清原 陽依 (福山市学校法人杉原学園松永幼稚園)

入選



「たんぼ」
那須 愛莉
(福山市学校法人杉原学園松永幼稚園)



「おたまじゃくし」
柳澤 龍臣
(福山市学校法人杉原学園松永幼稚園)



「さあ!!ジャンプ競争のはじまりだ!!」
島田 純寧
(学校法人三光学園神辺千鶴幼稚園)



「なつのおくりもの」
泉谷 柚羽
(福山市学校法人杉原学園松永幼稚園)



「田んぼとかかし」
井上 湊大
(福山市学校法人杉原学園松永幼稚園)



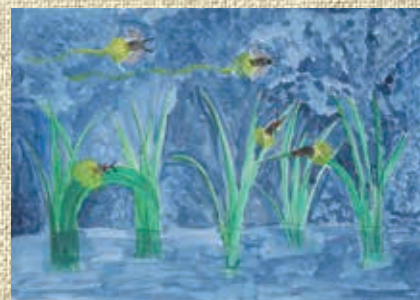
「げんきいっぱい おおきくなーれ」
上野 耀介
(福山市学校法人杉原学園松永幼稚園)



「みんなのたんぼ」
神原 惟那
(福山市学校法人杉原学園松永幼稚園)



「おいしいトマトがいっぱいとれたよ」
向井 七
(学校法人流川協会学園 流川こども園)



「田んぼにとぶホタル」
松田 龍空
(福山市立新涯小学校)



「花田植」
二村 茉緒
(広島大学附属小学校)



「みんなでワッショイ!」
河村 悠衣
(廿日市市立大野東小学校)



「虫送り」
榎本 爽羽
(広島市立五日市東小学校)

農業農村整備の集い

令和2年11月20日(金)、東京・平河町のシェーンバッハ・サボーにおいて、「農業農村整備の集い」ー農を守り、地方を創る予算の確保に向けてーが開催されました。

当日は、野上浩太郎農林水産大臣をはじめ副大臣や、衆参両院の国会議員、全国の土地改良関係者約500名が参集しました。

開会にあたり、全国水土里ネットの二階俊博会長が、「ため池特措法の成立に向けて、進藤・宮崎両議員が中心に汗をかき、皆さんと一緒に全力で対応した結果である」と挨拶されました。

続いて、野上農林水産大臣他多くの来賓の方々が挨拶をされました。

財務省や農林水産省に対する要請文が満場一致で採択された後、全国水土里ネット女性の会活動報告が行われ、盛会のうちに「農業農村整備の集い」は終了しました。

「農業農村整備の集い」終了後は、赤間副会長等が地元選出の国会議員に対して、農業農村整備の推進と予算確保に対する要請活動を行いました。



宮崎雅夫参議院議員とWEB意見交換会

令和3年1月14日(木)、宮崎雅夫参議院議員とWEBにより意見交換会を開催しました。当初は直接来館される予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により急遽WEBでの開催となりました。宮崎議員からは、「強い農林水産業と活力ある農山漁村作りに、進藤議員と協力しながら取り組んでいく」と新年の挨拶がありました。続いて、「全体的な事として新型コロナの感染拡大を抑えることが最重要課題だが、食料自給率や農村への人の流れ、ポストコロナに向け土地改良を活かした取り組みを検討する必要がある」とお話しされた後、赤間副会長をはじめとした土地改良関係者と意見交換が行われ、ため池対策の話や国土強靱化対策、土地改良

長期計画などについて意見が交わされました。本会職員も一緒にWEBに参加し、宮崎議員から直接話を聞ける機会となり、大変有意義な意見交換となりました。

